

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ: 次回発信日は1月12日月報(予定)

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「～牛乳類・はっ酵乳類ともに販売個数は減少～余乳処理への万全な体制と継続的な需要喚起、理解醸成活動が不可欠～」

※POSデータ提供店舗の更新により、2022年8月から今週12/18週までのデータが修正されています。

・12/18週の牛乳類の販売個数は、前週(12/11週)と比較して、牛乳、成分調整牛乳は横ばいとなったが、加工乳、乳飲料がやや減少したことで、牛乳類トータルでも減少し、前年との減少率はわずかに拡大した。加工乳は販売単価が前週よりも5円程度上昇したものの、依然として前年を上回っている。乳飲料は価格改定によるシフトの動きが一巡し、反動により6週連続で前年を下回ったと推察される。

・はっ酵乳の販売個数については、全品目で減少し、前年との減少率は拡大した。大容量タイプは前年をやや下回る水準を保っているが、ドリンクタイプは徐々に価格の上昇も見受けられ、1割以上も下回る低調な結果となった。

・バターの販売個数は、前週よりも増加したが、前年比▲7.6%と低調な結果となった。クリスマス需要により販売個数が増加したと考えられるが、12月からの取引乳価引き上げに伴う製品価格改定が順次進んでおり、11/20週よりも21円販売単価が上昇したことで前年を下回ったと想定される。クリスマス需要におけるバターの供給は、各社供給・販売を計画的に実施したことから、大きな混乱が生じたとの情報は入っていない。

・年末年始に差し掛かり、学乳の休止期間となるほか、例年牛乳類、はっ酵乳類ともに1年で最も売れ行きが減少する。一時的に大きな需給緩和となるため、生乳の余乳処理は予断を許さない。年末年始が明けても飲用の不需用期は続く。引き続き積極的な需要喚起や理解醸成活動により底堅い需要の確保が欠かせない。

「参考」消費拡大運動 JミルクHPリンク先

「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>  
 「20,040のチカラ」 <https://www.j-milk.jp/news/Power20040.html>  
 「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4og64000009qbz.html>

「延長決定」

「土日ミルク」啓発ツールの無償提供: 2024年3月19日(火)締切

【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(12/18)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:同96.0%、成分調整牛乳:同81.7%、加工乳:同101.2%、乳飲料:同96.3%。

牛乳類トータルでは同95.1%

※参考: 2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳販売個数は91.5%。

・販売単価は、牛乳:226.3円、成分調整牛乳:209.0円、加工乳:220.2円、乳飲料:174.4円。

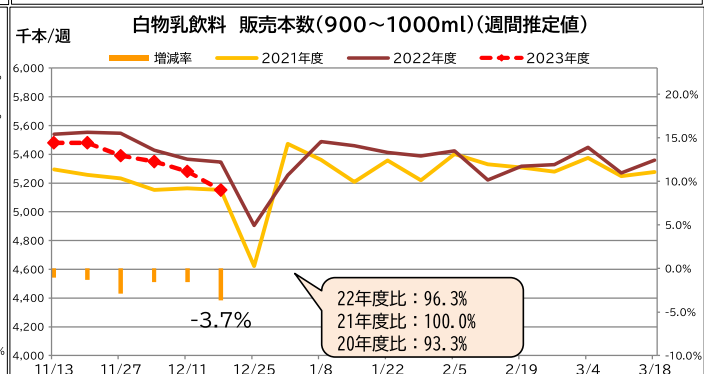
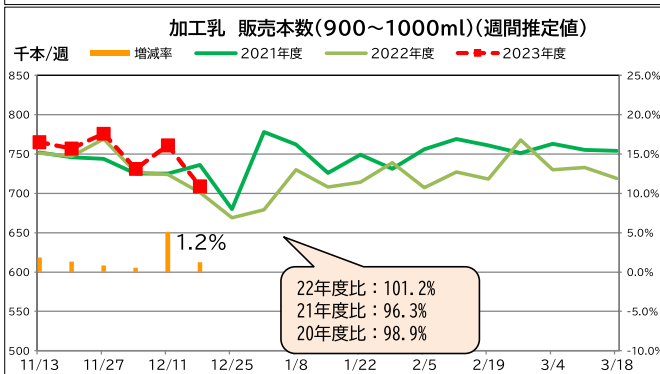
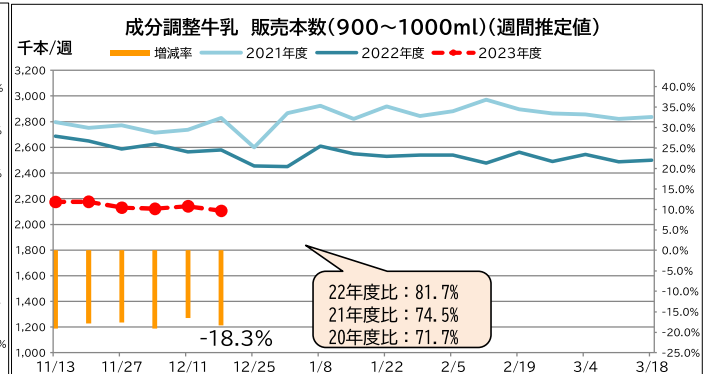
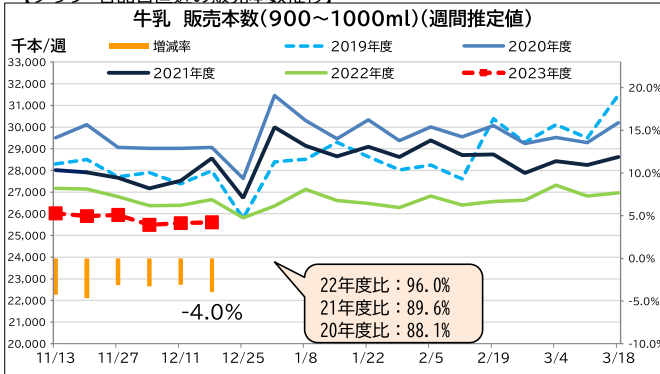
※出典 ㈱インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位:千個、円)

品目	区分	10.30-	11.6-	11.13-	11.20-	11.27-	12.4-	12.11-	12.18-	23.12.18- 22.10.24 価格差	23.12.18- 23.3.20 価格差	23.12.18- 23.7.24 価格差
		販売個数	35,992	35,434	34,438	34,300	34,241	33,693	33,751	33,569		
トータル	販売個数前年比	97.4	97.5	95.3	95.0	96.0	95.8	96.3	95.1	33.9	19.0	16.6
	販売単価	216.6	216.8	216.6	216.5	216.2	216.3	216.5	217.1			
牛乳	販売個数	27,121	26,675	26,019	25,888	25,945	25,491	25,569	25,603			
	販売個数前年比	97.5	97.8	95.8	95.4	96.9	96.6	96.9	96.0	36.0	19.7	18.5
成分調整牛乳	販売個数	2,266	2,306	2,174	2,176	2,130	2,121	2,140	2,106			
	販売個数前年比	80.3	84.6	80.9	82.1	82.3	80.9	83.4	81.7	35.3	20.4	15.8
加工乳	販売個数	820	777	765	757	776	731	761	709			
	販売個数前年比	106.7	104.1	101.9	101.3	100.9	100.5	105.2	101.2	29.3	19.0	8.4
乳飲料	販売個数	5,784	5,676	5,480	5,479	5,390	5,350	5,281	5,151			
	販売個数前年比	104.7	101.7	98.9	98.7	97.2	98.6	98.4	96.3	24.7	14.9	10.2
	販売単価	173.6	173.7	173.7	173.2	173.5	173.6	174.2	174.4			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(12/18週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%未満、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)販売個数について、前週(12/11週)と比較して、全ての品目で減少した。大容量タイプの前年との減少率は比較的小さいものの、ドリンクタイプは1割以上の減少率となっており、減少幅が大きい。はっ酵乳全体としては引き続き前年を下回っている。

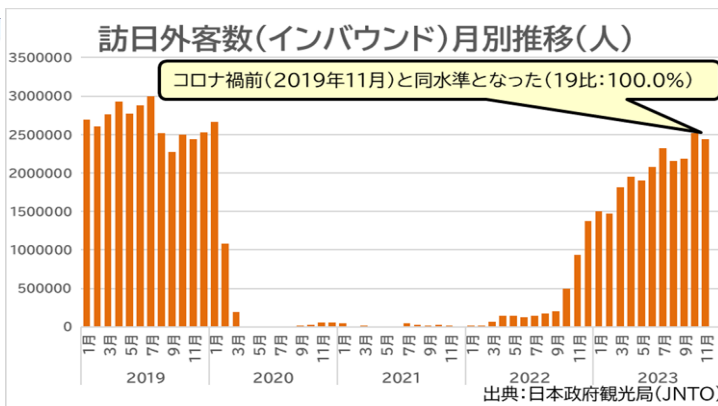
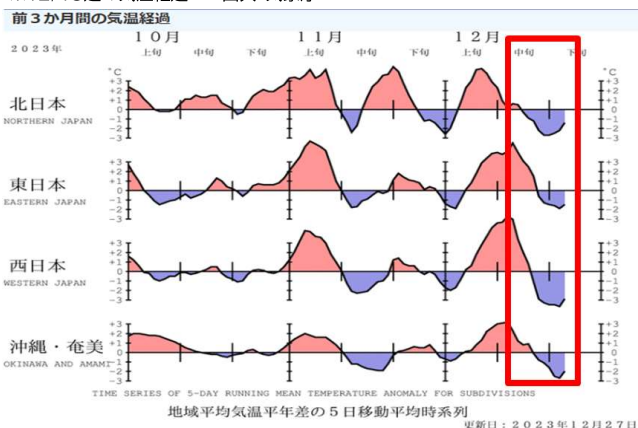
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	10.30-	11.6-	11.13-	11.20-	11.27-	12.4-	12.11-	12.18-
ドリンクタイプ	👉	👉	👇	👉	👉	👉	👉	👇
個食タイプ	👉	👉	👉	👉	👉	👉	👉	👉
大容量タイプ	👉	👉	👉	👉	👉	👉	👉	👉

- 👇 : 前年比90%未満
- 👉 : 前年比90%以上100%未満
- 👈 : 前年比100%以上105%未満
- 👊 : 前年比105%以上110%未満
- 👆 : 前年比110%以上120%未満
- 👇 : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※12/18週の気温経過 出典:気象庁



※「2023年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」